

BRAINNX V2.0.01 リリースノート（1）

BRAINNXが V2.0.01にメジャーバージョンアップされました。

機能の詳細は次項以降を参照ください。

- BRAINNXの設計機能 P.3
- BRAINNXの操作関連 P.4
- BIM連携 P.5
- 応答解析 P.6
- HyperSD P.7
- その他軽微修正 P.8～P.10

□ 移行上の注意点

バージョンアップに伴い、計算結果が変動するものがあります。
プロジェクトの途中でバージョンアップをされる場合は十分注意して
取り扱うようにしてください。

★鉄骨梁のたわみ：地震時LL→大梁/小梁用LL

★異形鉄筋断面マスタの変更：D13～D25の最外径を日本建設業連合会
2020年12月14日改訂の配筋標準図にあわせて最外径を変更

☆ RC大梁の付着検討式（新規モデルではRC規準2018版がデフォルト）

（★：既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆：新規作成建物から計算式が変わるもの

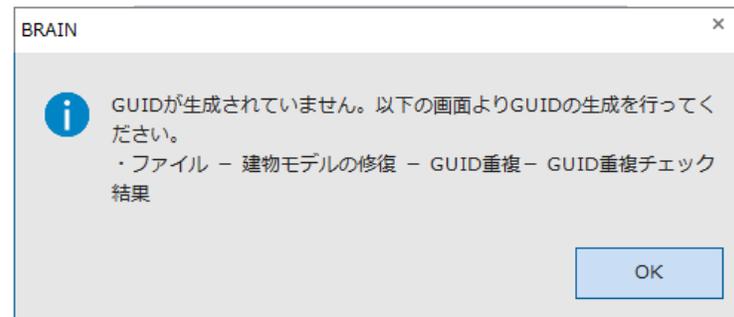
なお、一度バージョンアップしたモデルはバージョンダウンすることが
可能です。詳細はBRAINNXマニュアル操作編を参照ください。

BRAINX V2.0.01 リリースノート（2）

□ 移行上の注意点

過去バージョンで保存した建物モデルを開いた際にGUIDに関するメッセージが表示されますが、V2.0.01より実装された機能であり、建物モデルが破損しているわけではありません。

一度、メッセージの表示通りの動作を実施し保存すると、以後この建物モデルではメッセージは表示されなくなります。



BRAINNX V2.0.01 リリースノート (3)

□ BRAINNXの設計機能

- 鉄骨梁たわみ算定用LLの見直し★
たわみ算定用の積載荷重を地震用から小梁用に変更しました。
- RC大梁の付着検討式、トップ筋長さ算定式☆
- コンクリート強度マスタの変更
高強度コンクリートFc70~200を追加しました。
- 異形鉄筋断面マスタの変更
D13~D25の最外径が日本建設業連合会2020年12月14日改訂の配筋標準図に対応しました。

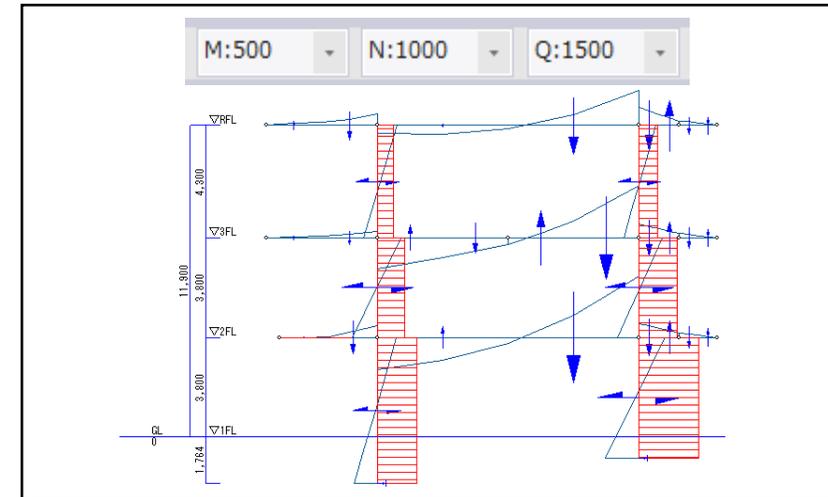
★ : 既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆ : 新規作成建物から計算式が変わるもの

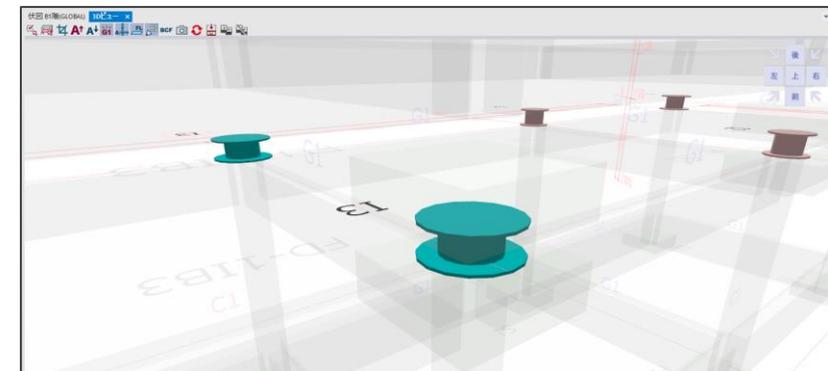
BRAINNX V2.0.01 リリースノート (4)

□ BRAINNXの操作関連

- 応力図において、描画倍率をM,N,Q個別に指定できるようになりました
- N-Q図のせん断力描画（青矢印）にブレースを追加
- 免震部材の3Dモデリングビュー対応
- SN材,SM材で指定した鋼材種ABC別にく体積算できるようになりました



MNQ描画倍率個別指定



免震部材の3D対応

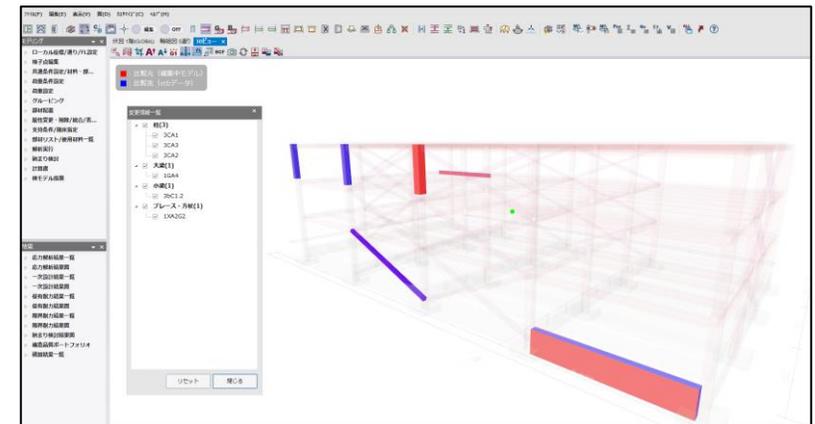
★ : 既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆ : 新規作成建物から計算式が変わるもの

BRAINNX V2.0.01 リリースノート (5)

□ BIM連携

- 3Dモデル比較機能の追加
モデル同士の差分を3Dで表示できる機能
- 検モデル指摘入力／記録出力
BRAINN上で検図指摘を記録することができます



3Dモデル比較機能



検モデル指摘入力機能

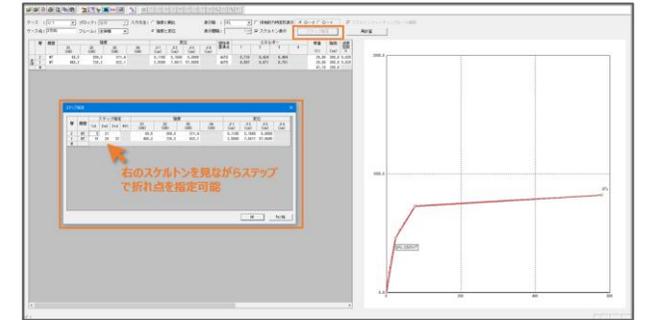
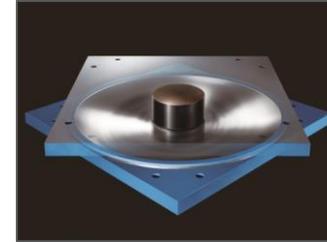
★ : 既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆ : 新規作成建物から計算式が変わるもの

BRAINNX V2.0.01 リリースノート (6)

□ 応答解析

- 免震支承マスター：球面すべり支承 を追加
- 免震支承マスター：製造中止製品情報の反映
- 免震支承マスター：ばらつき特性・大臣認定番号をマスターに追加
- SNAPコンバーターにブレース断面、座屈長さを追加★
- BRAINDASH機能強化（スケルトン保存機能の強化、ばらつき考慮等）



★：既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆：新規作成建物から計算式が変わるもの

BRAINNX V2.0.01 リリースノート (7)

□ 解析ソルバーの更新

解析ソルバーをHyperSD Ver.3.03 (β4) からVer.3.05に更新しました。 ★☆

★ : 既存データの再計算で、結果が変わるもの

☆ : 新規作成建物から計算式が変わるもの